

## 連続稼働時の本体フリーズ現象の対策について

KAMELEON(MFP-330)を、24時間程度、連続で起動させていると、本体が操作不能になる現象が確認されています。

検証の結果、この現象の原因は2つあることが判明しました。

一つは、サードパーティ製のドライバ起因のメモリリークによるもの、もう一つは、フロントパネルの通信異常によるものです。

これらの切り分け方法は、フロントパネルの操作が不能になった際に、USBテンキーをKAMELEONに接続して操作が可能な場合、後のフロントパネルの通信異常が発生しているものと思われます。

サードパーティ製のドライバ起因のメモリリークは、原因となるプロセスの停止と、定期的に無駄なメモリのクリアを行うことで改善することが確認されました。

つきましては、Ver.1.06.3以降のKAMELEONをご利用のお客様におかれましては、KAMELEON本体に修正用パッチの適用で改善されますので、お手数お掛け致しますが、お客様による修正パッチの適用をお願い致します。

パッチファイル : PFN002 「本体フリーズ対策」

フロントパネルの通信異常が発生しているお客様におかれましては、お預かりしての調整が必要になります。

大変、お手数お掛け致しますが、弊社までご連絡頂けます様、お願い申し上げます。

連絡先： TEL.03-5256-2016

KAMELEONサポート担当 宛て

ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程、何卒お願い申し上げます。

以上

## KAMELEON 修正パッチ適用手順

この手順は、「サードパーティ製のドライバ起因のメモリリークによる本体フリーズ」の改善を目的としたものです。

### 準備 1

#### この作業に必要なもの

- ・ MFP-330 KAMELEON本体 Ver.1.06.3 以降
- ・ MFP-330 KAMELEON パッチファイル PFN002  
<http://www.ontec.co.jp/vc/mfpDL.php>  
より入手いただけます。

#### ※補足

この作業時に、Ver.1.07.5.7.1以降のアップデートファイルをホームページより入手、アップデートをされたお客様は、「MFP-330 KAMELEON パッチファイル PFN002」は含まれていますので、別途ダウンロードおよび、適用の必要はありません。

### 手順 1

#### パッチファイル PFN002の適用

- ・ KAMELEONは電源を落とした状態にして下さい。
- ・ ダウンロードしたzipファイルは解凍し、中身の「UPDATE\_MFP330」ファイルを、USBメモリなど、KAMELEONに装填可能なメディアの第一階層に保存してください。
- ・ そのメディアをKAMELEONに装填し、KAMELEONの電源を入れて下さい。
- ・ アップデートファイルが認識されると、

Current Ver. 1.07.5.7  
Updated Ver. PFN002

と表示されます。

(現行がVer.1.06.3の場合、Current Ver.は1.06.3)

本体フロントの[ENTER]ボタンで押して、アップデートファイルを適用して下さい。

一度画面が消え、再び、上記の画面が表示されますが、[ESC/MENU]ボタンでキャンセルして下さい。

以上